

## 総務委員会 視察報告

期 日 平成25年10月8日～10日  
 研修内容 ・震災復興計画について(宮城県亘理郡山元町)  
 ・地域防災計画の見直し方針(宮城県多賀城市)  
 ・「平泉の文化遺産」現地視察  
 (岩手県西磐井郡平泉町)



防災教育の拠点として保存される中浜小学校

福島県境に位置する山元町は、美しい砂浜のどかな田園の広がる町です。今はJR常磐線の二つの駅(山下駅、坂元駅)の面影もなく東日本大震災大津波の被害の大きさを痛感しました。「震災を風化させず語り継ぎたい」との理由から防災教育の拠点として保存されている中浜小学校へ案内して頂きました。大津波から児童や住民の命を守った校舎です。大津波は、海岸から約300mの校舎2階部分まで達し、先生方の判断で2階建屋上にある物置となっていた屋根裏部屋(約30畳)へ児童約90人を避難させ一夜を過ごしたそうです。屋上へ上がると、綺麗であったろう海岸は見えませんでした。高さ約7mの白いコンクリートの壁(防潮堤)延々と見えるだけでした。今後、常磐線を復旧させ、(路線移設)二つの駅の周辺に新しい市街地をつくることは、大変な労力と時間の掛かる計画であると感じました。

多賀城市は仙台市の隣の市で、仙台港の内陸に位置しており、津波により家屋の浸水、上下水道などに大きな被害を受けました。

どちらの被災地にも、数百年前の津波の恐ろしさを伝える言葉、石に刻まれた文字地層等が残っており、防災教育の一環として後世まで災害の恐ろしさを伝える大切さを感じた研修でした。

研修議員 委員長：海老澤 勝 副委員長：飯田 正憲 委員：野口 圓  
 委員：藤枝 浩 委員：町田 征久 委員：柴沼 広

## 土木建設委員会 視察報告

期 日 平成25年10月1日～3日  
 研修内容 ・小樽市「小樽のファンが支えるふるさとまちづくり」について  
 ・江別市「連続立体交差事業」について



小樽市役所庁舎前にて

小樽のファンが支えるふるさとまちづくり事業とは、今も残されているかつての歴史的建造物や産業遺産などの歴史的な財産を後世に引き継ぐため、具体的な事業を示し、賛同していただける全国の「小樽ファン」の方々から基金への寄付を募り、まちづくりを進める事業であります。具体的な事業としては、旧国鉄手宮線の保存・活用事業、市立小樽文学館・小樽美術館の整備事業、総合博物館にある展示鉄道車両の保全事業、小樽市公会堂の能楽堂の保全・整備事業などがあり、寄付はこれらの中から指定することができるようになっています。

江別市の連続立体交差事業とは、鉄道を橋梁化して交通渋滞や事故の原因となっている踏切を除去し、鉄道を挟んだ両側の市街地を結ぶ複数の道路を一挙に整備する事業であり、交通安全上の効果だけでなく、まちづくりにおいても大きな効果が期待できるものであります。道路と鉄道を分離するため、道路交通、鉄道輸送の安全性が向上するとともに、交通渋滞の解消、これまで分断されていた南北市街地の活性化につながるなどの効果が望めるとのことです。また、土地区画整理事業や街路事業と連動して事業を行っているので、相乗効果により都市機能が充実し、利便性の高い賑わいのあるまちづくりが期待できるものです。

研修議員 委員長：西山 猛 副委員長：中澤 猛 委員：鹿志村 清一  
 委員：大関 久義 委員：石崎 勝三

# 議会改革活性化特別委員会報告

\*\*\* 傍聴者からのご意見を頂きました \*\*\*

## <一問一答方式導入についての感想>

### 良かった点

- 具体的な質問をすることで、的を射た回答がなされた。
- 質問を集中的に深めることができている。
- 答弁が丁寧で聞き取りやすかった。
- 論点をはっきり判るので議会の活性化につながる。

### 改善点

- 質問と答弁がかみ合っていないようだった。
- 質問者の声が聞き取りにくい。
- 質問の本来の主旨が見えなくなってしまう部分があった。
- 一問一答形式（方式）のみにした方が判りやすい。
- 新方式導入について、傍聴者にわかるよう事前に説明して欲しかった。
- 質問と答弁で1時間なのか、よくわからなかった。

## <その他の感想>

- 何が問題点か、解決策をどう考えているか、知ることができる。
- 議会改革の目標に向かって切磋琢磨を期待しています。
- 質問議員、内容、月日が事前に明確になれば市民の関心、マスコミの参加も増えると思う。
- 生の声の質疑応答と後日発行される「市議会だより」を見合わせると理解が深まる。
- 議会からの提案を出して欲しい。
- 議員主催の報告会を行ってはどうか。
- 各委員会での傍聴をできるようにしてはどうか。

○12月の定例会で、一般質問における一問一答方式を試行実施いたしました。傍聴されました皆様からご意見を頂きましたので、要約して掲載させて頂きました。

=ありがとうございました= (50音順)

池田 敏実さん(上郷) 大関 利男さん(金井) 澤田 實さん(下郷) 鈴木 育江さん(福原)  
中村 彦藏さん(北根東) 山田 保治さん(旭平) 吉岡 輝夫さん(笠間)

## \*\*\* 議会改革活性化特別委員会の活動状況 \*\*\*

- 平成25年3月18日 : 議会改革活性化特別委員会の設置(平成25年第1回定例会にて議決)
- 第1回(H.25/3/18) : 委員長・副委員長の互選
- 第2回(4/19) : 検討項目の整理、先進市の視察及び講演会の開催について(協議)
- 第3回(5/21) : 県内及び県外近隣市の議会運営に関する調査結果について(報告)
- 6月17日 : 議会改革に関する講演会の開催  
講師 野村 稔氏(元全国都道府県議会議長会 議事調査部長)
- 第4回(7/19) : 一般質問における一問一答について(協議)
- 第5回(8/1)、第6回(8/21午前) : 一般質問における一問一答方式導入実施要綱(案)について(協議)
- 第7回(8/21午後) : 議会改革活性化特別委員会の中間報告について(協議)
- 8月22~23日 : 先進市議会視察(町田市議会、多摩市議会、流山市議会)
- 第8回(9/17) : 議会改革活性化特別委員会中間報告(議決)
- 9月20日 : 第3回定例会で中間報告
- 第9回(10/17) : 一般質問の運用基準について(協議)  
インターネット配信について(協議)\*実施予定
- 第10回(11/18) : 今後の協議内容について(協議)\*9項目中の4項目について
- 第11回(12/19) : 議員定数について(協議開始)  
常任委員会のあり方について
- 平成25年第4回定例会(12月)より一般質問における一問一答方式の導入について試行実施
- 第12回(H.26.1.14) : 一問一答方式の導入に伴う運用基準の見直しについて(協議、決定)
- 第13回(H.26.1.21) : 議員定数について(協議)

○以上が、委員会の活動状況です。